

3000人の楽しい町

No.582

町報

こうふ

KOFU

2019
9月

学生が集うまち江府町！
ちいけんが今年もやっ
て来ました！

鳥取大学医学部地域医療研究部と関係者のみなさん（呉野ふれ愛学会にて撮影）

動画で町報こうふ！

URL: [https://www.youtube.com/
user/townkofu](https://www.youtube.com/user/townkofu)



2019年10月1日、消費税・地方消費税の税率は10%*へ。

※10%のうち2.2%は地方消費税です。

 税率引上げは社会保障制度を次世代に引き継ぎ、みんなが安心して暮らせる社会にするために必要です。

 引上げ分は、すべての世代を対象とする社会保障のために使われます。

 家計と景気、両方の視点から対策を実施します。

政府広報 消費税

検索

事業者の皆様！仕入税額控除の方式が変わります！

2019年10月1日から消費税・地方消費税の軽減税率制度がスタート。全ての事業者の方に関係があります。レジ導入などに対する補助金もあります。



詳しくはこちら

軽減税率 国税庁

検索





ハロウィンジャンボ5億円

(1等3億円・前後賞各1億円合わせて)

ハロウィンジャンボミニ3,000万円

(1等2千万円・前後賞各5百万円合わせて)

この宝くじの収益金は市町村の明るく住みよいまちづくりに使われます。

9月24日(火)2種類同時発売!

発売期間 9/24(火)~10/18(金)
抽せん日 10/30(土)

各1枚 300円

クーちゃん 公益財団法人鳥取県市町村振興協会

9月号の目次

(ページ)

3 特集 命と健康を守るまちづくり

昨年から池の内集落で地域医療のフィールドワークを展開する、鳥取大学医学部地域医療研究部。住民と学生が相互に交流し、健康問題について考えていくことで、その地域がみえてくる。次世代の医療人材の育成とまちづくりに注目していくー

8 まちの話題

とっとり共生の里事業「そばの種まきイベント」/ 奥大山山の日ロックフェス など

12 江尾十七夜フォトレポート

14 白石町長コラム「不易流行」/ 「3000人の楽しい町」プロジェクトチーム活動報告

15 公民館講座のご紹介 / エリカ先生の KOFU DE ACADEMIA

16 地域おこし協力隊通信 / 日野高レポート

17 農業委員会だより

18 まちのお知らせ

「見守りビデオレター」出演者募集 / 江府町子育て世代包括支援センター「おひさま」
江府町小中一貫教育推進検討委員会開催 (第2回・第3回) / 人の動き など

23 行事カレンダー

24 高校生が創る！これぞふるさと江府町 / 今月のフェイス / COVER -表紙の写真-

— 特集 — 命と健康を守るまちづくり

鳥取大学医学部地域医療研究部。

「ちいけん」と呼ばれる鳥取大学医学部の学生によるサークルは、長年、住民の健康問題の解決方法を住民と一緒に考えている。

平成30年度から3年間、池の内集落での取り組みが開始。今年度から、今年4月に開設された、地域医療人材育成拠点施設「俣野ふれ愛学舎」に滞在しながら、集落でのフィールドワークなどを活発に展開している。

住民と部員が心を通わすことは、健康問題を解決することだけではなく、その地域に新たな気づきや変化を与えていく。

「命と健康を守るまちづくり」

住民・大学・行政の共同による、次世代の医療人材の育成とまちづくりをみていく。

▲眼下に望む池の内集落



▲フィールドワークでの訪問活動の様子(池の内集落)

直接、足を運んで その地域から学ぶ

■江府町と地域医療研究部

鳥取大学医学部の学生サークル『地域医療研究部』は、江府町内の集落を対象に、家庭訪問等の調査による地区診断活動を行っています。50年以上の歴史をもつサークルで、かつては、江尾診療所の武地幹夫医師や鳥取大学の谷口晋一教授も在籍し、鳥取県内の地域をフィールドに、活動を行っていました。町では、中山間地の住民の命と健康を守る次世代の医療従事者を地域で育てるために、平成15年から地域医療研究部の受け入れを開始し、これまで9集落にご協力いただきました。

■目指している活動

学生たちは、主に夏休みを利用して江府町に泊まり込み、集落に存在する健康問題を探り、住民の生活実態に沿った健康づくりのための活動を提案、実施しています。将来医師を目指す学生だけでなく、保健師や看護師などの看護職や研究職を目指す学生もいっしょに意見を交わし合い活動しています。

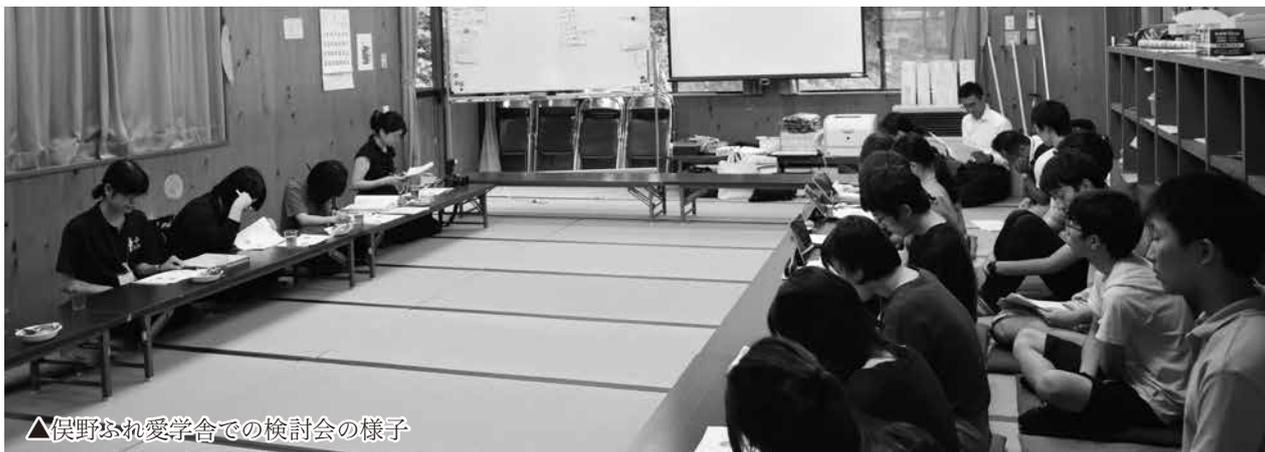
また、毎年夏の活動には全国で大学教官や臨床医師、看護師、保健師として活躍しているサークルの卒業生が江府町を訪れて、学生の調査分析に加わります。

■昨年からは池の内集落へ

平成30年度からは池の内集落での活動がはじまり、家庭訪問やアンケート調査を行っています。今年度は36世帯に訪問させていただきました。普段の生活から健康状態、地域に対しての思いなどを聞かせていただいています。学生たちは「講義では学べない、地域医療を知ることができた」、「住民さんに育てていただいた」と、学びを実感しています。

また、池の内集落との交流として、敬老会へ出席して親睦を深め、秋には鳥獣対策のワイヤーメッシュ張りをお手伝いし、身をもって農業の大変さを学んだところです。池の内集落の住民さんからも「若い学生が来てくれて嬉しい。学生から元気をいただいています」と喜びの声が寄せられています。

共有し、見つめる



▲俣野ふれ愛学舎での検討会の様子

■検討会

今年7月に実施したアンケートと、8月17日(土)、18日(日)に実施した家庭訪問の結果を集計し、「この集落の課題は何か、どういうことを集落へ投げかけるか」など、俣野ふれ愛学舎で夜遅くまで討論がなされました。

今回のテーマは『睡眠』と『介護』。昨年度の調査から、満足な睡眠がとれていない方が多いという結果が出たことから、年間のテーマを『睡眠』にしました。また、高齢化率や要介護率の現状から、『介護』もテーマで取り組むことにしました。

この2つは、これまでではじめて取り組むテーマ。「報告・座談会」の前日に行われる検討会で役場職員を交えて、報告・座談会の方向性について議論をしました。



▲鳥取県庁や日本財団も視察で来訪

■検討からわかったことを報告

池の内集会所で8月22日(木)に行われた報告・座談会には、池の内集落から31名の方々が参加されました。学生や職員も合わせると50名を超え、賑やかな報告・座談会となりました。

はじめに、池の内集落自治会長藤原伸吾さんが、「本日はざっくりばらんに、いろんな意見を出していただければと思います」と挨拶。白石町長も「たくさんの方がご参加されていますので、ぜひとも、この時間を楽しんでください」と挨拶しました。

続いて、鳥取大学医学部地域医療研究部から、今年のアンケートと家庭訪問で分かったことを報告しました。

まず、『睡眠』については、「疲れがとれない」、「途中で目が覚める」といった意見があったこと、その原因として「夜間のお手洗いや身体の痛みがある」、「加齢により、睡眠の質が変化する」という報告がなされました。

また、『介護』については、学生が考えてきた事例をもとに、「相談すること」、「制度・サービスを使うこと」などの大切さを参加者へ投げかけました。

共に考え、語り合う



▲報告・座談会で調査結果を報告



△報告後は住民さんと直接顔を合わせて語り合い

■座談会

座談会では、数名のグループに分かれ、テーマに沿って意見を話し合います。

『睡眠』については、「日頃の睡眠時間はどのくらいか」ということから話が膨らみ、布団に入る時間や季節による睡眠の違い、自分で工夫している入眠のコツなど、たくさんの意見が寄せられました。

また、『介護』については、実際に介護を経験されたことのある方から「ケアマネージャーさんに、とてもお世話になった」、「昔は全部、家の中で対処していたが、今はサービスがあるので助かっている」、「遠くにいる家族には、介護の大変さをわかってもらいたい」という意見が多く寄せられました。一方で、介護をした経験がない方は「実際に介護問題に直面してみないとイメージがわからない」という意見が出ました。『介護』という大変難しいテーマではありましたが、高齢化の進む地域にとって切実な課題への、貴重な意見がたくさん飛び交い、とても充実した座談会となりました。

鳥取大学医学部地域医療研究部は、来年で池の内集落の活動の最終年度を迎えます。今後も、俣野ふれ愛学舎を拠点として、『睡眠』、『介護』について池の内集落と意見を出し合いながら、地域に根付いた活動を続けていきます。

地域と学び 地域を知る



▲テーマをもとに意見が飛び交う

あつまれ！江府町ルーキーズVSベテランズ

7/25

「第3回移住者の集い」（共催：NPO法人こうふのたより、江府町観光協会）が7月25日（木）、福祉交流センター江美の郷エミーズカフェで行われました。このイベントは、江府町で生まれ育った在郷者と、様々な縁で江府町民となった移住者をつなぐことを目的とし、今回で3回目を迎えました。当日は約30人が参加し、エミーズカフェ特製のパンや飲み物を口にしながら、地元アーティストによるライブのほか、自由参加の「ふれ愛カラオケ大会」などが行われました。



▲ライブを楽しむ参加者の様子

7/26

エバーランド奥大山に輝く満天の星



▲天体望遠鏡で星を鑑賞する参加者

「星“天の螢”を見る会」（主催：『こうふくらしっく♪』川端一美会長）が7月26日（金）、エバーランド奥大山で行われました。星を鑑賞しながら、合同会社「えんちゃん」の移動販売車で食べ物や飲み物を購入し、夏のエバーランド奥大山を楽しむという企画で、当日は11名が参加。屋内で星座盤を使って星座や星の見え方について学習した後、屋外で実際に天体望遠鏡を使い鑑賞しました。好天に恵まれ木星や土星も確認することができ、参加者は夏の星空を満喫しました。

青空のもと、地元と企業の共同でそばの種まき

7/27

御机集落とサントリー天然水奥大山ブナの森工場が、共同で取り組んでいる「とっとり共生の里事業」の一環として、「そばの種まきイベント」が7月27日（土）に行われました。悪天候の影響のため、開催が当初より2週間延期となりましたが、今年で4回目を迎えた会場の笠良原のほ場には33人の関係者が集まりました。はじめに、簡単な作業説明を行った後、一同で種をまき、御机集落の方がトラクターで覆土と転圧を実施。青空のもと、トラクターによる作業は壮観でした。



▲参加者で記念撮影

8/1

驚きの化学実験を体験！



▲化学変化にびっくり！

今年も夏休み期間中に子どもたちの安心・安全な居場所を作るため「夏休み子ども教室」を開催し、様々な遊びや体験活動を実施しました。8月1日（木）には、「化学実験教室」として、国立米子工業高等専門学校の谷藤尚貴先生にお越しいただき、ライトの光を使って紙に絵を書いたり、液体窒素を使って花やボールを凍らせる実験を行いました。子どもたちは「うわぁ、すごい、すごい！」と変化していく様子に驚きながら、普段はできない貴重な化学の実験を楽しみました。

8/3

江府町の「現在」を体験し、「未来」について再発見



▲トンネル内部の見学の様子

「江府町いいところ巡りツアー～米子自動車道工事編～」(共催：NPO法人こうふのたより、江府町観光協会)が8月3日(土)に行われました。町内を巡り、地元の魅力を再発見することを目的として、今回初めての開催。当日は25名が参加し「米子自動車道江府地区付加車線設置事業」について、株式会社大林組、株式会社森本組、株式会社安部日鋼工業の各担当者から説明を受け、トンネルや橋りょうの工事見学をしました。その後、エミーズカフェで昼食をとり交流を深めました。

美しい「灯ろう」は美しい「船谷川」で

8/4

「船谷川の清掃活動」が8月4日(日)に行われました。船谷川は毎年、江尾十七夜で「灯ろう流し」が催され、祭りを前に毎年、清掃活動が実施されています。役場職員やサントリー天然水奥大山ブナの森工場の方々など27名が参加し、船谷川の上側と下側に分かれ一斉に掃除を開始。ボランティアのみなさんはゴミ袋を手に、草や葎に隠れたゴミなどを丁寧に拾い集めました。この日集まったゴミ袋はおよそ35袋。回収したゴミはきれいに分別をして廃棄しました。



▲清掃後の記念撮影の様子

8/7

人権・同和問題研修会を開催



▲講演する岡本さん

「人権・同和問題研修会」が8月7日(水)、江府町防災・情報センターで行われました。講師の一般社団法人タウンスペースWAKWAK事務執行理事兼事務局長岡本工介さんが、「差別をなくすから手をつなぐへ～ルーツを大切に生きる～」と題して講演。子どもの貧困問題を中心に被差別部落を拠点に実施しているまちづくり、子どもの居場所づくり事業について紹介されました。岡本さんは「誰もが幸せに暮らせるまちづくりをすることで差別のない社会が実現できると思う」と語られました。

真夏のバスケットボールの試合に「奥大山の水」

8/10

「ストリートバスケットトーナメントIN鳥取砂丘」が8月10日(土)、鳥取砂丘見晴らしの丘で開催され、「奥大山の水」が無料提供されました。3人制バスケットボールチーム「鳥取ブルーバース」を運営する株式会社skyer(大山町)の宇佐美孝太代表取締役や、同チームを応援する「トットリスターラボ」のメンバーが、江府町地域振興株式会社から提供された「奥大山の水」を配布。選手や来場者は「奥大山の水」でのどを潤しながら、真夏の砂丘で白熱の試合が繰り広げられました。



▲「奥大山の水」を手にするトットリスターラボメンバーと宇佐美代表取締役(写真右)

今年も「山の日」は奥大山でロックフェス♪

8/11

「奥大山山の日ロックフェス」が8月11日（日）、奥大山スキー場で開催されました。山の日にちなみ江府町観光協会が企画し、今年で3回目。地元アマチュアバンドなど10組が出演し、特設ステージでロックやポップスなど多彩なジャンルの曲が演奏されました。また、会場ではグルメブースが設けられ、「大山おこわ」や「奥大山天然水のかき氷」など奥大山のグルメも販売。演奏の合間には、富永勇太さん（吉原在住）らによるBMXのパフォーマンスも披露され、会場を盛り上げました。



▲会場を盛り上げる出演者の様子

8/11

県境を接する四県四郡市のスポーツによる親善



▲陸上競技の様子

「第69回四県四郡市総合体育大会」が8月11日（日）に日野郡内で開催されました。この大会は、県境を接する四県四郡市がスポーツを通して文化の交流を図り親睦を深めることを目的とし、今年は日野郡で開催。江府町会場では陸上競技とバレーボールが行われ、熱戦が繰り広げられました。日野郡の主な優勝種目は以下の通りです。

【日野郡の優勝種目】 ソフトテニス男子 ソフトテニス女子 グラウンドゴルフ女子
 【総合成績】 第1位 島根県仁多郡 第2位 岡山県新見市 第3位 広島県庄原市 第4位 鳥取県日野郡

旧米沢小学校でタイムカプセルを発掘25年ぶりにお目見え！

8/16

ソニー賞受賞記念で石碑を建設した際、一緒に埋設したタイムカプセルの発掘イベントが、8月16日（金）に旧米沢小学校にて行われました。カプセル開封は、当時4年生だった中田尚さんと伊達和利さん（共に御机）が行い、ソニー賞受賞に貢献された矢倉元校長をはじめ、当時の先生や児童や保護者、地域の方と一緒に、昔を思い越して25年ぶりの再会を喜びました。矢倉元校長は、「久々に訪れましたが、当時の記憶が蘇り、変わってなくて懐かしい。今日は集まってくれてありがとうございます」と述べました。



▲当時の先生や児童と一緒に撮影

8/16

きれいな川で恒例のアユつかみ取り大会



▲工夫をしてアユつかみに挑戦する子どもたち

江尾十七夜のの前日イベントとして江府町愛漁会（上原二郎会長）主催による「アユつかみ取り大会」が8月16日（金）、江府町せせらぎ公園で開催されました。同会を中心に事前に清掃や準備が行われ、当日は多数の親子連れが町内外から参加。子どもたちはアユのすばやい泳ぎに苦戦をしていましたが、何人かで並び体でせき止めるなど工夫をして捕まえていました。上原会長は「アユはきれいな川でしか生きられません。川にゴミなどを捨てず大切にしましょう」と述べられました。

8/24

今年で40回目となるソフトテニスを通じた交流



▲両町の参加者のみなさん

「第40回姉妹町親善交歓ソフトテニス大会」が8月24日（土）、江府町運動公園テニスコートで行われました。江府町と西ノ島町が姉妹町盟約を締結してから毎年行われている大会で、今年は本町で実施。本町からは21名、西ノ島町からは10名が参加しました。大会では、一年振りの再会を懐かしみながら、ソフトテニスを通して交流。参加者からは「今年でこの大会も40回目。歴史を感じますね」といった声が聞かれました。大会後には懇親会も行われ、お互いの絆をさらに深めました。

厳しい想定の中での連合演習

8/25

「令和元年度西部広域消防圏連合演習」が8月25日（日）、小原集落で実施されました。西部地区各町村の消防団により部隊が編成され、午前10時に演習開始。小原集落内で火災が発生し、集落内は電波状況が悪いという想定のもと、情報の連絡は伝令のみで実施。各団員は無線機を使用せず、口頭で伝令を行いながらホースを連結し消火活動を行いました。訓練終了後、江府消防署山形和也署長は「今回の無線が使えないという厳しい訓練経験を今後活かしてください」と述べられました。



▲小原集落での合同演習の様子

8/31

校舎を磨くことで地域の絆も深まる



▲ブラシで窓を磨く様子

「第7回江府中学校一緒に校舎を磨く会」が8月31日（土）に開催されました。生徒、教員、保護者、地域のボランティアの方などが参加し、12のグループに分かれ、学校や周辺を専用の道具などを使いながら掃除をしていきました。竹内貴美校長は「この会は今年から土曜授業の一環として行うことにしました。生徒が地域の方々とふれあいながら、これからもこの校舎を大切に使っていこうという気持ちを新たにす大切な活動です」と述べられました。

江府町産梨「新甘泉」を収穫体験

8/31

「令和元年度第2回新甘泉見学会（収穫体験）」が8月31日（土）、江府町せせらぎ公園近くのほ場で行われました。約25名の方が参加し、鳥取県西部総合事務所農林局西部農業改良普及所杉嶋至さんがほ場の特徴や栽培方法について説明。杉嶋さんは「ほ場全体がネットで覆われているので無袋栽培が可能。また、ジョイント栽培で作業や収穫がしやすく初心者向けです」と述べられました。説明後、参加者はハサミを手に収穫体験。この日収穫した一番重い新甘梨は940グラムでした。



▲新甘泉の収穫体験の様子



3



4



5

江尾十七夜奉納大相撲大会の動画は
こちらのQRコードから閲覧する
ことができます。



6

2



1

—フォトレポート—

五百年の伝統

江尾

十七夜

8月17日(土)に開催した「江尾十七夜」。江府町が一年に一日だけ、五百年前をしのび当時へとタイムスリップする伝統の祭りは、今年も多くの観客を魅了しました。台風の影響により「久連山の火文字」は残念ながら中止となりましたが、それ以外のイベントは行うことができました。

「踊り」、「太鼓」、「灯ろう」、「相撲」、「花火」、「山車」、「仁輪加」など伝統的な催しと、ダンスやライブなどの多彩な催しとの共演—

「江尾十七夜」は町中が躍動する祭りとしてこれからも後世に受け継がれていきます。



仁輪加と花火の動画はこちらのQRコードから閲覧することができます。



1_花火 2_Naked. ライブ 3_貝田傘踊り 4_少年相撲大会 5_奉納大相撲大会 6_こだいち踊り 7_江府中学校吹奏楽部 8_Quma number 9_露店通り 10_奥大山踊り 11_日野川子供太鼓 12_江美城太鼓 13_山車 14_伯耆天神ばやし太鼓 15_仁輪加 16_天の蛍スペシャルライブ 17_船谷川の灯ろう
(一部写真提供:重森真司さん)

「不易流行」

よき伝統を守りながら(不易)

進歩に目を閉ざさないこと(流行)によって

「理想」を創造する

奥大山の豊かな自然が育む教育

8月19日(月)から3日間、西
部町村会で、宮崎県新富町と鹿児
島県長島町を行政視察しました。
新富町は若鶏やシャインマスカッ
ト、一粒千円のライチ等でふるさ
と納税を20億円近く集める人口約
1万7千人の町。長島町はぶりの
養殖や海産物の加工販売等で12
0億円を売り上げる人口約1万人
の町。いずれも、地域の特性を活
かし、先進的で特徴のある施策を
展開されており、参考になること
が多々ありました。

さて、視察の3日前、地元では、
旧米沢小学校で25年前に当時の在
校生たちが埋めたタイムカプセル
を開封するイベントがありました。
当時の在校生、保護者、職員の皆
さんが一言ずつお話しされた中で、
とても印象的なことがありました。
それは、「ある先生の誕生日に、
子どもたちが理科室を暗くして、



▲タイムカプセル開封イベントでの地域の方々との記念写真

ホタルを放してプレゼ
ントした。」という話
でした。このような発
想ができる子どもたち
は素晴らしいし、その
ような子どもたちを育
てた保護者のみなさん
、職員のみなさんの力も
大きいと思います。そして、何よ
り米沢地区の豊かな自然がなけれ
ば、実現はできなかったでしょう。
日本全国に素晴らしい取組みを
している市町村は数多くあります。
江府町では今後、奥大山の豊かな
自然、文化、歴史をしっかりと肌
で感じ、自由に発想できる子ども
たちを育てる教育に力を入れてい
きたいと考えています。

「3000人の楽しい町 プロジェクトチーム」(※)活動報告

若手職員によるグループ活動

「小さなカイゼン部活動」が8
月21日(木)にスタートしまし
た。前回の事前学習では、まず
全員で職員提案の『文書管理プ
ログラム』について学び、自分
のデスク周りの整理整頓につい
ての問題点やその改善に向けて
できること…などを個々に振り
返りました。そこでは、「机の
引き出しに書類を入れてしまい、
自分にはかわからないことがあ
る」、「文書をまとめたファイ
ルの置き場所(あるべき所)が
決まっていない」などの記述が
あり、これを庁舎全体の問題点
として共有するため、ふりかえ
りシートに出されたすべての意
見を全職員に周知したところ
ですが、第1回部活動では、個々
の日常の中で改善したいと感じ
ていることを持ち寄り、各グ
ループでこれから取り組む改善
課題の設定を行いました。事前
学習が、文書管理についての内
容であったため、個々の課題で
は書類に関するものが多く出
てきましたが、所属を超えて話
し合うことで、書類の整理一つ
とってもその原因や背景の違い
が見えたり、省力化できること

に気づいたり、会場は熱い議
論で盛り上がりました。
各グループではこれから、9
月末の第2回全員部活動に向け
設定した課題解決のためのチ
ーム部活動を展開します。業務改
善活動により職員の仕事を直
接したことで、町民のみなさんの
幸せにつながる…というところ
まで行きつくのがこの活動の理
想です。

「『今までどおり』を変えら
れない人間は、来年も再来年も
ずっと『今までどおり』だ！」
を合言葉に、若い力で新しい風
を起こします！



▲「小さなカイゼン部活動」の様子

これまでの活動はこちら



これまでの活動の様子はQRコードを読み取ることでご覧いただけます。

※「3000人の楽しい町」プロジェクトチームとは・・・有志の20～30歳代の江府町役場職員と、その職員から選出されたリーダーで構成。今年度で4期目を迎え、楽しい町の支障となる様々な課題について課を越えて取り組む。

公民館講座のご紹介

今回は年間講座の油絵教室をご紹介します。

油絵教室は、8月から新しい講師のもと、4名で活動しています。新しい講師の先生も丁寧な指導をされるので、初めての方でも楽しく活動できます。興味のある方はお気軽に見学にお越しください。

詳しくは江府町教育委員会事務局（電話：0859-75-2005）までお問い合わせください。

日 時：毎月第2月曜日
午後1時30分～3時30分
場 所：江府町防災・情報センター
準備品：筆、パレット、絵具、
キャンバス



▲文化祭での展示風景

エリカ先生のKOFU DE ACADEMIA 13

Making the Climb

エリカ先生の動画はこちらから



A couple weeks ago, I climbed Mt. Fuji for the first time. I went with one other friend. It was a tough climb, but also not as bad as I had expected, and it may have just been because of the good company I had. We stayed in a hut at the 8th Station, 3,250m to the top. We were able to see the sunset and the sunrise. Both were amazing sites. When we made it to the very top, it was two hours before sunrise, and we were both very underprepared. It was so cold! We only had jackets to wear! But it was completely worth the view later.

From Mt. Fuji, we parted ways, where I went to Taiwan. I was able to see Amei Teahouse in Jiufen, a famous site from the movie, "Spirited Away". Do you know it?

My trip was so much fun! I was even able to make it back in time for Jyuushichiya!

登山

2, 3週間前、初めて富士山に登りました。一人の友達と一緒に行きました。とてもきつい登山でしたが、予想していたほど辛いものではありませんでした。単に一緒に行った人が良かったからかもしれません。

私たちは8合目、標高 3,250 メートルにある小屋に泊まりました。日没と日の出を見ることができました。その両方は驚くほどすばらしい景色でした。私たちが頂上まで到達したときは日の出の2時間前でしたが、二人ともがまったく準備不足でした。とても寒かったです！私たちは羽織る上着しか持っていませんでした！しかし景色は完璧に見る価値のあるものでした。

富士山から私たちは別々になり、私は一人で台湾に行きました。ジウフェンの阿妹茶樓を見ることができました。有名な映画"Spirited Away"「千と千尋の神隠し」の場所です。みなさんは知っていますか。私の旅行はとても楽しいものでした。十七夜に間に合って戻ってくることもできました。

江府町の地域おこし協力隊の活動日記  vol.14 『今、忙しく取り組んでいること』

新居が決まりました！退任後も江府町で活動していきます。

十七夜も終わり、お盆が過ぎて、今、まさに引越し準備の真っ只中です！9月からいよいよ江府町の最北？集落！大河原の家で暮らしていくこととなります。そこは、なんだか「ぼつんと一軒家」に出てきそうな森の中のお家です。長年空き家になっていたこともあり、まずは住めるように急いで整えているところです！「今度、大河原に引越しするんです！」って言うと、みんなから口を揃えて、「雪が大変だよー」と必ず言われます。冬が来る前に家の周りに囲いをつけることも絶対条件。除雪車なんてもちろん持ってないので、どうなることやら…。凍結のことや、何もかもが初めてで、知らないこともいろいろあって結構ドキドキです。だけど、町内で素敵なお家を見つけることができ、ようやく本格的に移住してきたという実感も湧きそうで、不安よりもワクワクが大きくて、とても楽しみです！引越しが落ち着いたら早めに作業場を作りたいと思っています！冷やかしく大歓迎！ぜひ皆さん覗きにきてください(^^)／



観光振興班 いわさき ちえ
岩崎 智恵

3年目がやってきました。頑張ります！！

9月はもう皆さまも大忙しの季節かと思えます。こちら宮市でも稲刈りシーズンが始まり1日に何度も天気予報を見る日々がやってきました。今年の水稲は6.2haです。移住して3年目の稲刈り。早いものでもう3度目の稲刈りがやってきました。毎年毎年「ああすれば良かった」「こうすれば良かった」と反省するんですが、1年に1度のタイミングを逃すと次年度に持ち越し。この試行錯誤のサイクルスパンが長いのも農業の不思議な魅力の一つですね。水稲は儲からないと言われる作物ですが、この美味しい江府町のお米をもっと世に知ってもらいたいと思います。9月は皆さんほんと忙しい季節かと思えます！頑張りましょう！



法人宮市班 まつもと よしふみ
松本 良史

笠良原にて、自分で住む家をセルフリフォーム中です！

現在、笠良原に引っ越すために新住居のリフォーム中です。まだまだ、かかりそうですがやっと窓や扉を入れてロフトも出来ました！ロフトから見える外の景色は最高です！ここで寝るのが楽しみ。やはり自分自身で住まいを作るのは何とやりがいのある仕事です。達成感をすごく感じます。次は内装をもっと快適にしたり入口に庇（ひさし）を作ります。来年の春には引っ越せるよう頑張らねばなりません！



農業振興班 くわはた さいもん
柴畑 才文



▲商品提供する日野高校のみなさん
(写真左から：清水さん、小坂さん、加藤さん)

日野高レポート 

「課題研究」開発商品の巻

江尾十七夜前夜祭の8月16日（金）、えんちゃん江尾店特設会場において、日野高校の課題研究で開発された商品「フワシユフカき氷」が販売されました。この課題研究は「地域を元気にする」というテーマのもと取り組まれ、日野高校3年生の清水麻衣さん、小坂徳真さん、加藤穂恵さんと、日野高校教員により商品を考案。奥大山の水で作ったかき氷に、町内産ブルーベリーで作った甘酸っぱいソースをかけたものが、30食限定で提供され、約1時間で完売しました。食べ終えた方からは「泡立っているのが新食感でした。ソースが爽やかでおいしかったです」と感想が述べられました。

農地パトロール（農地利用状況調査）を開始します ～遊休農地の解消と農地の有効活用の推進～

遊休農地の解消に向けて

「農地パトロール出発式」を8月21日（水）、江府町山村開発センターで行いました。推進会議では、日野振興局講師が調査の意義を確認し、調査の要点と計画について意思の統一を図りました。8月から11月にかけて、農業委員と農地利用適正化推進委員が、状況調査で巡回します。調査にあたり、農地への立ち入りや、要望や計画などのお話をお聞きすることがあります。

みなさまからのご理解とご協力をお願いします。



▲農地パトロール出発式

農地の有効活用の推進

長年、先祖から受け継ぎ大切に守ってきた農地も、ひとたび耕作を止め数年経てば、原形が分からないほどに荒れてしまいます。

元通りにするためには、相当な労力・費用と年数が必要となります。また、病害虫の発生を助長したり有害鳥獣の隠れ場所になり被害を受けやすくなります。

周囲には、生産意欲・耕作余力のある『担い手』がいます。自分で管理ができなくなった方は、『担い手』に託してみませんか。

農業者年金に加入しませんか

農業者年金は60歳未満の国民年金第一号被保険者で、年間60日以上農業に従事していれば加入できます。

【農業者年金の特徴】

- 積立方式の安定した年金。
- 生涯受給できます。
- 保険料は全額所得税控除。
- 保険料は月額2万円から自由に選択。
- 保険料の国庫補助が受けられます。

令和元年 秋の農作業標準賃金

8月9日（金）開催の農業委員会総会で決定しましたのでお知らせします。

実際の契約にあたっては、下表を目安に当事者同士で協議の上決定してください。 ※標準賃金額は消費税抜きです。

作業区分	標準賃金	備 考	(注)	
一 般 作 業	7,040円	1日8時間 賄いなし	(1)これは、ほ場整備農地の賃金であり、ほ場整備未完了の農地にあっては、これを基準に相互に話し合って決定してください。 (2)表示金額は消費税抜きで表示しています。	
機 械	コンバイン	15,560円		10aあたり すみ刈は委託者が実施
	耕 起	6,020円		10aあたり
草 刈	畦 畔 等	1,500円		1時間あたり燃料・機械含む

9月の農地相談会

農地に関することはお気軽にご相談ください

- ◎ 相談日 令和元年9月26日（木）
午後1時30分～午後3時30分
- ◎ 場 所 江府町山村開発センター

農業委員会総会 <8月9日（金）開催>

審議案件すべて承認されました。

- ・農用地利用集積計画（案） 2件
- ・非農地証明（案）について 1件
- ・秋の農作業標準賃金について 1件

【問い合わせ】 江府町農業委員会事務局 電話：0859-75-6620



国土交通省日野川河川事務所 関連イベント

国土交通省（建設省）が中国地方で最初に建設した菅沢ダムが完成してから50年が経過したのを記念して各種イベントを開催します。

菅沢ダム完成50年記念式

- ▶日時（予定）
11月10日（日）
午前10時～11時30分
（受付開始：午前9時30分）
- ▶場所 日南町総合文化センター
- ▶内容
神楽上演/菅沢ダム建設当時記録映像上映/ビデオメッセージ紹介/食のイベント等（※入場無料）

【問い合わせ】

国土交通省日野川河川事務所総務課
電話：0859-27-5484

【受付時間：平日午前9時～午後5時】

菅沢ダムと王子製紙のバス見学会

- ▶日時（予定）
11月10日（日）
午後0時30分～4時30分（予定）
- ▶見学コース（予定）
日南町総合文化センター（午後0時30分出発）⇒菅沢ダム（バス周遊30分）⇒王子製紙（工場見学1時間）⇒日南町総合文化センター（午後4時30分到着）

▶申込方法

10月4日（金）から10月18日（金）までに下記へ電話でお申し込みください。（後日、乗車券を発送しご案内します。なお、先着40名様までとし、定員に達した場合、期限内でも申し込みを締め切らせていただきます）

【問い合わせ】

国土交通省日野川河川事務所菅沢ダム管理支所
電話：0859-87-0311

【受付時間：平日午前9時～午後5時】



公証週間休日法律相談

米子公証役場では、公証週間中（10月1日から7日まで）の取組として、下記のとおり公証週間休日法律相談を行います。

- ▶日時
10月5日（土）～6日（日）
午前9時～午後3時まで（2日間とも）
- ▶会場
米子公証役場
- ▶相談内容
公正証書作成にかかる遺言、任意後見、離婚（慰謝料・養育費等）などに関して公証人が相談に応じます。
- ▶その他
予約制ですので、事前に電話連絡をお願いします（平日：午前9時～午後5時受付）。相談は無料、秘密は厳守します。

【問い合わせ】

米子公証役場
電話：0859-32-3399



火葬場「桜の苑」使用料の支払い窓口の変更

現在、火葬場「桜の苑」の使用料は、桜の苑のほか江府町役場でもお支払いできますが、令和元年10月以降は桜の苑のみになります。

10月以降は各市町村窓口で死亡届の手続きの際に発行される「埋火葬許可証」と「火葬場使用許可証」を桜の苑の窓口へ持参し、直接、使用料をお支払ください。（桜の苑の使用許可証は桜の苑または桜の苑圏内の市町村でしか発行されません）

詳しくは下記へお問い合わせください。

【問い合わせ】

江府町役場住民課
電話：0859-75-3223



「お知らせ」「イベント」など暮らしに役立つ情報をお届けします。

江府町役場

☎0859-75-2211（代表）
〒689-4401 江府町大字江尾475



2019年度 労働セミナー（西部）

働き方改革のルールを正しく理解し、適正な労務管理に活かせることを目的として労働セミナーを開催いたします。

- ▶日時
9月13日（金）
午後2時～3時30分
- ▶場所
米子市立図書館2階研修室
- ▶テーマ
『これからの労務管理のポイント』

▶内容
確実な年次有給休暇の取得、労働時間の上限と管理

- ▶講師
社会保険労務士 濱田 國秀さん
- ▶対象者
労務担当者、管理者、一般の方など興味がある人
- ▶参加料 無料
- ▶申込み 必要

（電話またはFAXでお申込みください）

※当日参加も可能ですが、資料準備のため事前申込をお願いします。詳しくは下記へお問い合わせください。

【申込先、問い合わせ】

鳥取県中小企業労働相談所 みなくる米子（平日：午前9時～午後5時30分）
電話：0859-31-8785
FAX：0859-21-0034

i 年金生活者支援給付金
制度開始(10月1日から)

年金生活者支援給付金は、公的年金等の収入や所得額が一定基準額以下の、年金受給者の生活を支援するために、年金に上乗せして支給されるものです。受け取りには請求書の提出が必要です。

▶対象者

【**高齢基礎年金受給者**】

(ただし以下の要件をすべて満たしている必要があります)

- ・65歳以上
- ・世帯員全員の市町村民税が非課税
- ・年金収入額とその他所得額の合計が約88万円以下

【**障害基礎年金・遺族基礎年金受給者**】

(ただし以下の要件を満たしている必要があります)

- ・前年の所得額が約462万円以下
- 請求の手続きなど詳しくは以下お問い合わせください。

【**問い合わせ**】

日本年金機構(給付金専用ダイヤル)
電話:0570-05-4092

i 『とっとりNOW』
123号 好評発売中!



鳥取県から生まれ、全国に普及した画期的な氷温技術。現在では知名度も高まり、幅広い分野で応用、ますます注目されている。巻頭特集で、その奥深さや素晴らしさを紹介。特集では、日本最古の円形校舎を利用した「円形劇場フィギュアミュージアム」の魅力にスポットを当てた。

▶**取扱場所**

下記事務局、県内書店 他

▶**定価** 1部 定価286円(+税)

▶**発行** 年4回(3、6、9、12月)

【**問い合わせ**】

鳥取県広報連絡協議会
電話:0857-26-7086
FAX:0857-29-6621

i 困ったら一人で悩まず
行政相談

10月7日(月)から13日(日)までの1週間は「行政相談週間」です。行政相談は、国など役所の仕事や暮らしの不便について、相談にお答えする制度です。

江府町でも毎月、人権・行政相談所を開設し、相談を受け付けています。

【**10月の人権・行政相談所**】

▶**日時**

10月9日(水) 午前9時~正午

▶**場所** 江府町防災・情報センター

▶**行政相談委員** 井上あけみさん
電話:0859-75-1311

各分野の専門家に相談したい方は、年に一度の合同行政相談所へ!

【**米子合同行政相談所**】

▶**日時** 10月9日(水)

午後1時~4時

▶**場所** 米子市文化ホール

【**問い合わせ**】

鳥取行政監視行政相談センター
電話:0857-24-5542

NPO法人「こうふのたより」動画企画

「見守りビデオレター」出演者募集!!



江府町在住の方で、遠く離れたお子さん、お孫さんに江府町での暮らしの魅力と元気をビデオレターで届けませんか?

■撮影時間は10分程度。2~3分程度のメッセージ動画に編集しNPO法人「こうふのたより」のホームページ等で公開します。また、江府町公式チャンネルでも公開します。

■10月下旬から公開予定。

▶**募集期間** 令和元年9月13日(金)から9月30日(月)まで

▶**応募条件** 江府町在住の方(※年齢制限はありません)

▶**申込方法** NPO法人「こうふのたより」へ電話でお申し込みください。

▶**撮影方法** NPO法人「こうふのたより」スタッフがいきます。撮影の日時や場所については、後日、ご相談の上決めさせていただきます。

▶**その他** 出演に関わる費用は無料ですが、報酬等はありません。詳しくは以下へお問い合わせください。

【**問い合わせ**】 NPO法人「こうふのたより」 電話:0859-72-3122

江府町子育て世代包括支援センター 「おひさま」



江府町子育て世代包括支援センター「おひさま」では、子育て機関の情報や支援を切れ目なくつなぎ、一貫したサービスの提供を目指しています。



<ブックスタート>

毎月1回、ブックスタート事業を子育て支援センターで開催しています。

ブックスタート事業では、親子が絵本を介してゆっくり触れ合うひとときを持つきっかけをつくることを目的に3~4か月のお子さんに1冊、11か月~12か月のお子さんに1冊絵本をプレゼントしています。

当日は、図書館司書による絵本の読み聞かせを行います。その後、好きな絵本を選んでいただき、後日プレゼントをします。対象となる方には、随時連絡をしますので、ぜひご参加ください。

<第1回こっこらぶ>

「第1回こっこらぶ」を7月24日(水)、子供の国保育園で開催しました。

こっこらぶは、妊娠中の方も含めた「子育て世代」の集いの場を作ることを目的に、年に数回実施しています。

今回は、アロマセラピストである宅野有理子さんを講師にお迎えし、「アロママッサージ」を実施しました。当日は、アロマについての講演・アロマオイルの作成・ハンドマッサージの実演をしました。今回は、保護者の方だけでなく、ファミリーサポートセンターの支援会員さんも参加されました。参加者のみなさんからは、「自分で香りをカスタマイズできるのが魅力的だった」、「とても気持ちよかった」などの感想が聞かれ、リラックスしたひと時を過ごすことができました。



妊娠・出産・子育てに関することについて、いつでもお気軽にご相談ください。

【問い合わせ】江府町子育て世代包括支援センター
「おひさま」(江府町役場福祉保健課内)
電話:0859-75-6111

気をつけよう
消費者トラブル



パソコンを使用中に偽の警告表示!!

～不安にさせてセキュリティソフトの契約をさせる手口～

アドバイス

パソコンでインターネットを見ていたら、突然警告音が鳴り、「ウィルスに感染した」と警告画面が表示された。

慌てて画面の電話番号に連絡したら、「3年間のサポート契約が必要。今すぐ対処しないと危険」と言われ、5万円で契約してしまった。後から必要のないソフトだとわかったので、解約したい。

・「実在の事業者と思わせるロゴマークが付いている」、「警告画面が消えない」、「カウントダウンが現れる」など消費者を不安にさせます。(これらの対処方法は、情報処理推進機構のホームページが参考になります)

・このような警告画面は偽の表示である可能性があります。慌てて事業者に連絡したり、セキュリティソフトの契約をしないようにしましょう。

・後から解約しようとしても、契約先が海外事業者のため、手続きが進まなかったり、連絡しても返信がない場合があります。



○消費生活相談員による相談窓口

9月18日(水)、10月9日(水) 午前9時～午後4時
役場本庁舎1階会議室にて開催(役場正面向かって右側の入り口からお入りください)

○通常の相談窓口

平日：江府町役場住民課 (電話：0859-75-3223)
土日：鳥取県消費生活センター
(電話:0859-34-2648) ※祝日、年末年始除く

お気軽に
ご相談ください



Q3. 出産はいつ?
生後1年半で性成熟し、晩秋から冬にかけて発情し、在胎120日で、翌春に出産します。そのた

照)。
Q3. 出産はいつ?
生後1年半で性成熟し、晩秋から冬にかけて発情し、在胎120日で、翌春に出産します。そのた

Q2. 10頭以上の子供を連れていたけど、どういうこと?
10頭以上の子どもがいたということは、その親が2頭以上いるということですので。地域によって核家族化するもありますが、一般的には母系集団を作ります。そのため10頭以上の群れというのは、母・娘・母娘それぞれの子どもたちで構成されています(下図参照)。

Q1. 一回に何頭産むの?
イノシシは1回の出産で、平均4〜5頭産みます。平均なのでこれより少ないことも多いこともあります。最大でも1回の出産で7頭と言われており、8頭以上産むことはありません。

Q4. 年に2回出産するの?
め夏ごろウリ模様の幼獣を目撃することが多くなります。

春の出産に失敗したイノシシが秋に出産し、晩秋から冬にかけてウリ模様の幼獣を目撃することがあるため、春と秋の2回産んだという話が出てきたのでしょうか。

ちなみに豚が年2回出産できるのは、出産後すぐに幼獣を引き離し(強制離乳)、すぐに発情させるためです。つまり、人間の介入があつてこそこの話です。

獣害対策最前線
第16回
イノシシの出産にまつわる話

日野郡鳥獣被害対策協議会
実施隊チーフ 木下卓也
問い合わせ|0859-72-1399



▲イノシシの群れの構成(母との関係)

学校教育の未来を考える
江府町小中一貫教育推進検討委員会開催(第2回、第3回)

これからの本町学校教育の在り方を検討する「江府町小中一貫教育推進検討委員会」の第2回(6/28)、第3回(7/23)が開催されました。

第2回では「小中一貫教育の必要性」が確認され、第3回では「学校の形」についての協議がスタートしました。

第2回

■小中一貫教育の必要性について
①児童生徒数の減少によって集団規模の維持確保が難しくなる。

②江府中学校の学級数減による教職員数の減少という将来的な不安要素。

●小中一貫教育を進めることで集団規模の確保による教育的効果、教職員の連携・柔軟な対応等が期待できるのではないかと。

●小中学校だけでなく保育園も含めた15年間を見通した子ども達の将来像を見定めながら協議を行いたい。



★小中一貫教育を進めていくことを確認。

第3回

■学校の形について
①小中一貫教育については、「義務教育学校」、「小中一貫校」、「現状のままで充実させていく」という3つの選択肢がある。

②学習指導要領改訂。急激な社会の変化に対応し、予測困難な時代にあっても未来の作り手となるために必要な資質・能力を確実に身につけさせることが求められる。

●現状でも小中の連携を行っているが十分とは言えない。「小中一貫校」は明確に意思統ができ、今後の方向性を示せる。校舎が分かれているからといって、教師集団が一つになるためにも一つの学校としての意識を持ってもらうことが大事。
●義務教育学校になると分離型で、校長が1人になる。緊急時の対応のリスクが増えるのではないかと。

★次回回は…
「江府町の子ども達のために、義務教育学校と小中一貫校のどちらがよいか」という2つの選択肢で再度協議を行います。

●会議は傍聴ができます。 ●会議の詳細な議事録は、町ホームページに掲載しています。

【問い合わせ】江府町教育委員会事務局 電話：0859-75-2223

口座振替のお願いについて

現金納付の江府町の税金は全て、口座振替に変更をすることができます。口座振替は納付の手間がなく、納付忘れを防ぐこともできます。ぜひ、口座振替をご利用ください。口座振替の申し込みは、ご本人様が直接、金融機関窓口にてお願いします。口座振替ができる金融機関は、山陰合同銀行・鳥取西部農協・鳥取銀行・ゆうちょ銀行です。お早めのお手続きをお願いします。ご不明な点がございましたら、役場住民課にご相談ください。

今月の国民年金

納付期限 9月分 令和元年10月31日(木)まで

平成31年4月から令和2年3月までの国民年金保険料は月額16,410円です。保険料は日本年金機構から送られる納付書により金融機関や郵便局、コンビニで納めることができるほか、口座振替やクレジットカードによる納付なども可能です。保険料は納付期限までに納めましょう。

- 固定資産税(3期) ●国民健康保険税(4期)
- 介護保険料(4期) ●後期高齢者医療保険料(3期)

納付期限及び口座振替は令和元年9月30日(月)です。

人事異動 (令和元年8月31日付)

【退職】子供の国保育園 保育士 藤井 明佳

■まちの人口 2,878人(-6)
男 1,352人(-2)
女 1,526人(-4)
■世帯数 1,040世帯(-1)
8月末現在()は前月比

応援ありがとうございます!

ふるさと納税
令和元年8月31日現在
延申込件数 323件 (前月比+63件)
延寄付金額 4,160,000円 (前月比+87万円)

◎ごめい福を祈ります (住所) 氏名 (性別) (保護者)

日 日 詔	中尾 映斗	男	健太
杉 谷 田本	龍志 丈一	男	丈一
下 蚊屋 伊藤	侑莉 夏美	女	夏美
本 町一 横田	旺生 真生	男	真生
大 万 橋井	麻衣 美香	女	美香
(住所) 氏名 (年齢) (世帯主)			
本 町一 田口	恒子 明	94歳	明
武 庫 浦部	敏彦 一史	91歳	一史
御 机 仲田	藤子 千廣	88歳	千廣

◎香典返しとして (8月分) 敬称略

埼玉県 山戸 裕子 父井上彌之助死去(薨)

日の詔 中尾 彰人 妻恭子死去

宮 市 末次惠美子 母愛子死去

本 町一 岩成 明 母田口恒子死去

御 机 仲田 千廣 母藤子死去

◎見舞い返しとして 本人退院

池の内 藤原 邦子

9月

防=防災情報センター 開=山村開発センター 福=総合健康福祉センター 役=江府町役場本庁舎 創=高齢者創作館
本=本町5丁目集会所 セ=せせらぎ公園

月 Mon	火 Tue	水 Wed	木 Thu	金 Fri	土 Sat	日 Sun
16	17 カラオケ同好会 本 (広域隣保活動) 午前10時~正午 ピアノレッスン 防 午後3時30分~5時 アイリス合唱団 防 午後7時~9時 下蚊屋線	18 大正琴教室 防 午後1時30分~4時30分 ピアノレッスン 防 午後3時30分~5時 書道教室 本 (広域隣保活動) 午後4時~5時 ストリートダンス教室 防 午後6時30分~8時 御机線	19 明德学園開校日 折り紙教室 (広域隣保活動) 本 午前10時~正午 陶芸教室 創 午後1時~4時 書道教室 防 午後1時30分~3時 第3回 人権・同和教育講座 たんぽぽ学級 詳しくは下記に記載 俣野線	20 フラダンス教室 防 午後2時~3時30分 お茶会 本 (広域隣保活動) 午後2時~4時 いけばな教室 防 午後7時~8時 柿原線 下安井線	21 健康と体カづくり フェスティバル in明倫地区 午前9時~ 旧明倫小学校体育館にて 【問合せ】 フェスティバル実行委員会 (各集落分館長)	22 ピアノレッスン 防 午前11時~午後5時 江府町立図書館 ものづくりクラブ 午前10時30分~11時 防
23	24 パッチワーク同好会 午前9時~11時30分 防 ピアノレッスン 防 午後3時30分~5時 アイリス合唱団 防 午後7時~9時 下蚊屋線	25 ピアノレッスン 防 午後3時30分~5時 ストリートダンス教室 防 午後6時30分~8時 御机線	26 社交ダンス教室 防 午後2時~4時 江府町立図書館 休館日 本の貸出、閲覧、PC利用はできません。 本の返却、新聞・雑誌の閲覧はできます。 俣野線	27 元気クラブ(2) 本 (広域隣保活動) 午前10時~正午 柿原線 下安井線	28 和紙折紙教室 防 午後1時30分~3時30分 子供の国保育園 運動会 午前9時~ 子供の国保育園にて ※雨天時は町体育館にて	29 ピアノレッスン 防 午前11時~午後5時 江尾地区 町民運動会 午前9時~ 江府町運動公園 総合グラウンドにて 【問合せ】 江府町教育委員会 75-2005

30

9月は【健康増進普及月間】です。
 テーマ ~健康寿命の延伸~
1に運動 2に食事 しっかり禁煙 最後にクスリ
 江府町では、脳卒中の1人あたりの入院費用額と件数が増えており、課題となっています。日頃の生活習慣を振り返り、運動習慣の定着や、食生活の改善といった健康習慣を確立していきましょう。
 【お問合せ】 江府町役場 福祉保健課 電話：75-6111

第3回人権・同和教育講座 たんぽぽ学級
9月19日(木) 演題「~暮らしやすいまちづくりのために~ お互いを認め合える関わり方 (承認のスキル) を学ぼう!!」
 午後7時~8時30分 江府町防災・情報センター
 講師 笠木理恵さん
 申込不要!どなたでもご参加いただけます

大河原線

10月

防=防災情報センター 開=山村開発センター 福=総合健康福祉センター 役=江府町役場本庁舎 創=高齢者創作館
本=本町5丁目集会所 セ=せせらぎ公園

月 Mon	火 Tue	水 Wed	木 Thu	金 Fri	土 Sat	日 Sun
	1 ピアノレッスン 防 午後3時30分~5時 アイリス合唱団 防 午後7時~9時 下蚊屋線	2 手芸教室 本 (広域隣保活動) 午前10時~正午 大正琴教室 防 午後1時30分~4時30分 ピアノレッスン 防 午後3時30分~5時 ストリートダンス教室 防 午後6時30分~8時 奥大山カフェ 創 午後7時~9時 御机線	3 第4回 人権・同和教育講座 たんぽぽ学級 午後7時~8時30分 江府町防災・情報センター 詳しくはチラシをご覧ください 俣野線	4 フラダンス教室 防 午後2時~3時30分 お茶会 本 (広域隣保活動) 午後2時~4時 第5回 小中一貫 推進検討委員会 午後7時~9時 江府町防災・情報センター 柿原線 下安井線	5 編物教室 本 (広域隣保活動) 午前9時30分~正午	6 ピアノレッスン 防 正午~午後5時 江府町 総合防災訓練 午前9時~10時 町内全域
7	8 パッチワーク同好会 午前9時~11時30分 防 元気クラブ1 本 (広域隣保活動) 午前10時~正午 パッチワーク教室(年間) 防 午後1時~3時 囲碁教室 本 (広域隣保活動) 午後1時~5時 ピアノレッスン 防 午後3時30分~5時 アイリス合唱団 防 午後7時~9時 下蚊屋線	9 ピアノレッスン 防 午後3時30分~5時 ストリートダンス教室 防 午後6時30分~8時 人権・行政相談 午前9時~正午 防災・情報センター 御机線	10 社交ダンス教室 防 午後2時~4時 俣野線	11 いけばな教室 防 午後7時~8時 柿原線 下安井線	12	13 ピアノレッスン 防 午前11時~午後5時 江府町立図書館 おはなし会 防 午前10時30分~11時

大河原線



▲「ありがとうございます」とさわやかな挨拶もトッピング



▲「どれにしようかな」と記念の缶バッジを選ぶお客さんの様子

江府町の特産物を活かそうと、グリーンステージ奥大山ファクトリー、奥大山ブルーベリーファームの協力を得て作ったふわふわ氷にブルーベリーソースたっぷりのせいたくなかき氷。自分たちで考案したキャラクターや手書きの題字によるちらしも作成し配布しました。

町内の方々も多数応援に駆けつけ、町外からの観光客にも大好評。1日50食の限定販売でしたが、3日間ともあつと言つ間に完売となりました。今後は、このかき氷を目当てにたくさんの方が江府町を訪れてくれるよう、新たな働きかけを行っていく予定です。

江府町の特産物を活かそうと、グリーンステージ奥大山ファクトリー、奥大山ブルーベリーファームの協力を得て作ったふわふわ氷にブルーベリーソースたっぷりのせいたくなかき氷。自分たちで考案したキャラクターや手書きの題字によるちらしも作成し配布しました。

江府町の特産物を活かそうと、グリーンステージ奥大山ファクトリー、奥大山ブルーベリーファームの協力を得て作ったふわふわ氷にブルーベリーソースたっぷりのせいたくなかき氷。自分たちで考案したキャラクターや手書きの題字によるちらしも作成し配布しました。

江府町の特産物を活かそうと、グリーンステージ奥大山ファクトリー、奥大山ブルーベリーファームの協力を得て作ったふわふわ氷にブルーベリーソースたっぷりのせいたくなかき氷。自分たちで考案したキャラクターや手書きの題字によるちらしも作成し配布しました。



ふるさと江府町を舞台に高校生が、まちづくり
高校生が創る！
「これぞふるさと」と江府町



奥大山スキー場休止のお知らせ

奥大山スキー場につきましては、町直営による運営を行いながら、平成29年度から指定管理者募集を行い、民間業者による運営を模索してまいりました。しかしながら、今春実施した第4回の募集においても指定管理者の決定に至らなかったため12月からの今シーズンの営業は行わないことといたしました。ご利用いただいておりますみなさまには、大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

【問い合わせ】江府町役場農林産業課 電話：0859-75-6610

今月のフェイス

関わることでにぎやかに



川上 剛司さん
(美女石在住)

有限会社川上装飾の代表取締役を務め、父親と二人で内装職をしています。最近では米子市内を中心に新築の仕事が多いですが、遠くは出雲市や鳥取市にも伺うこともあります。仕事で大切にしていることは「喜んでいただけること」。江府町と関わる仕事も増やせればと思っています。江府町商工会青年部では、先月の江尾十七夜で「江美城太鼓」の唄い手を担当しました。高校生にもボランティアで加わっていただき交流ができました。プライベートでは「家族と過ごす時間」を大切にしています。小学校PTA会長も務めさせていただいていますが、先生や保護者の方々の関わりも大切にしています。

COVER ー表紙の写真ー



鳥取大学医学部地域医療研究部が8月16日（金）から22日（木）まで、池の内集落を中心にフィールドワークを行いました。滞在した地域医療人材育成拠点施設「俣野ふれ愛学舎」の前で、地域医療研究部の頭文字「C」のポーズをとる部員のみなさんを収めた一枚です。

